

各地各界の高齢者が連携して史上に新たな「平成長寿社会」を達成する

「月刊丈風」の刊行趣意と指針 [老中八策]

◎活動趣意



☆「人生90（65+25）年」という長寿は、祖父母・父母たちが前世紀に平和を守りながら努めて得た成果であり、今世紀を生きる子・孫たちにとっては実現すべき課題です。ふたつの世紀をつなぐわたしたちは、「すべての世代のための社会」を模索しながら高齢期を過ごすこととなります。

☆4人にひとりに達した高齢者（65歳以上）のだれもが保持する成熟+円熟した生活感性を萎縮（デフレーション）させることなく、みんなが安心して過ごせる共生・共助の「地域生活圏」をこしらえること。
☆これまでに培ってきた「健康・知識・技術」（体・志・行）そして資産や人脈を活かして、これまでになかった「モノ・サービス・居場所」やしくみを創り出すこと。わたしの場合は経験を活かしてweb「月刊丈風」という情報拠点を定めて、烽火をあげました。

☆「月刊丈風」は大丈夫（丈人）の風格・気概をもって生きる人びとみんなの居場所です。

これまでは「人生65年」=2世代（青少年+中年）+α（高年）型 「引退余生」社会

これからは「人生90年」=3世代（青少年+中年+高年）平等型 「現役長生」社会

◎[老中八策] 「尊厳」ある高齢期を送る指針 ここからひとつずつひとつでも

- 一 65歳から90歳までの25年を他力依存でなく過ごすため「自立意識」を確立中
- 二 「引退余生」でなく「現役長生」で社会参加を続けながら「高齢期人生」を実現中
- 三 培ってきた知識技術を活かして高齢期の暮らしを豊かにする「優れモノ」を制作中
- 四 体(≥病気) 志(≥認知症) 行(≥介護) 三つのバランスで「包括ケア」を体現中
- 五 「三世代（青少年～30歳 中年～60歳 高年～90歳+）現役型」社会を創出中
- 六 日また一日欠かさずに出て「地域生活圏」（「助け合い」の現場）の形成に参加中
- 七 高齢者がつどう「居場所」でそれぞれの自己目標やみんなの課題の解決策を談議中
- 八 水玉模様のような小さな会に加わり各地各界の仲間同士と成果を分け合って連携中

注：「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」（高齢者五原則）は国連が提唱する国際的指針。

2012・5・1～2016・1・1～

「月刊丈風」編集人

堀内正範 高齢化問題ジャーナリスト 朝日新聞社社友（元『知恵蔵』編集長）

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 9340-8

Tel & Fax 0475-42-5673 web「月刊丈風」編集人

e-mail mhori888@ybb.ne.jp

web「月刊丈風」「丈風の会」<http://jojin.jp/>

blog「らうんじ・茶王樹・南九十九里から」

<http://myhp.ne.jp/chaoju/lounge>

*****ご支援ご参加ください。「月刊丈風」情報へ

堀内正範

